



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2021年5月1日 発行 第5号

ワシントン日本語学校
校長 神戸 昭夫

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411

4月24日は5つのクラスにおじゃましました

<小2（国語）>先生の問いかけに、画面の向こうから手を挙げる子。一瞬リモートだったことを再確認しました。たんぽぽの「ちえ」と「わけ」を示す文をとらえるという単元の目標を目指していることがわかります。子どもたち一人ひとりの真剣なまなざしにも驚きました。「植物なんだけど、人がものを考えるみたいに、脳みそはないけどあるように、自然の温度、湿り気によって様子が変わっているわけがわかったと思います。」と先生。友達の意見に「私も同じです」と意思表示もできていました。

<小3（国語）>ゆっくり丁寧な日本語で話しかける先生。子どもたちも「〇〇です」と語尾まで丁寧に答えます。やはり先生の表情がやさしい。先生方は子どもたちにとって一番の学習環境です。先生が鉛筆で書かれたマス目のノートを見せながら、「文章の最後には『。』をつけるよ」と話しかけながら一人ひとりの動きやノートにも気を配っています。画面越しでも、子どものノートを前のめりになって確認しようとしている先生。突然おじゃました私への質問は「好きな食べ物と誕生日」。なんと私と同じ誕生日や24日前後が誕生日の子もいました。リモートですが、子どもたちとも距離が縮まったような気がしました。

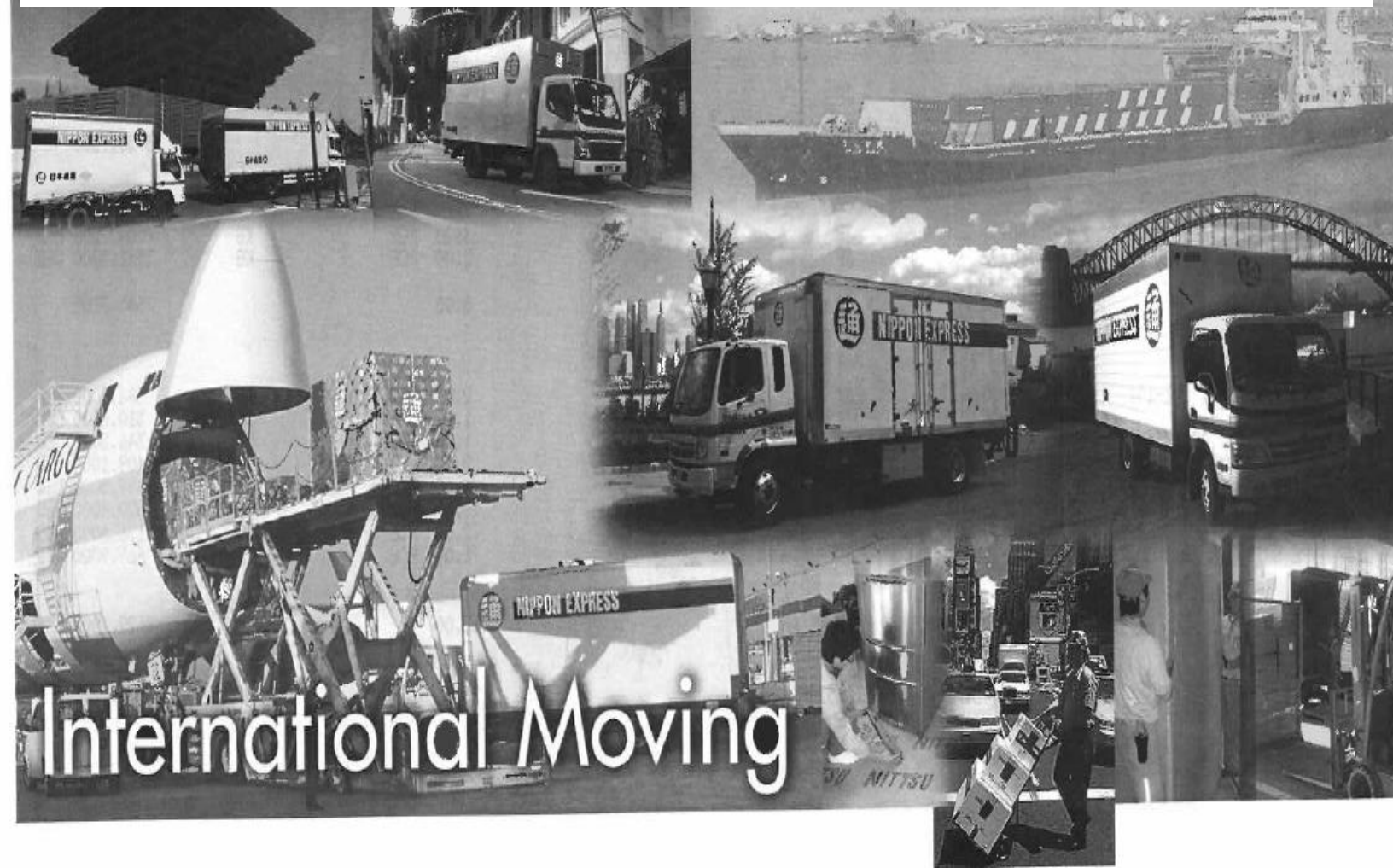
<小5（国語）>漢字の成り立ちの単元でした。「これが 今日の授業です。」と言いながら「漢字の成り立ちについて理解する」という目標を提示。「犬」という字は「大」に「・」じゃない。象形文字の「窓」「門」は紛らわしい等、形が変化してできた漢字を象形文字ということを 学習していました。「なるほど!」と思った意見は、「本という字は実物の本を開いて広げると、足を開いたような形に 見えます。」上という字について、事前学習の成果がでている子どももいました。

<中1（国語）>グーグルクラスルームの活用が終わった後にお邪魔しました。「目標はこれです。」と言いながら「心情や行動を表す語句に注意して読む」を提示。やっぱりさすが中学生。「〇〇と思います。」との発言に中学生らしさ、頼もしさを感じます。子どもの生の発言を直接パソコンに打ち込み、実際に黒板を使っているかのようでした。

<中2（数学）>テストを開始したばかりのところにお邪魔してしまいました。式の計算の単元でした。みんな真剣に取り組んでいました。「つまずいたら、飛ばして先に行き、また戻ってこよう」大切な声かけです。テストに取り組んでいる空気は、オンラインでも子どもたち同士のところに伝わっていると思いました。

では、また来週！

帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい



海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで

今日は5月1日

<その1>日本では「八十八夜」

今が一番いい季節ですね。お茶といえば「静岡」はもう昔の話になりました。昨年度鹿児島県が第一位になりました。私が勝手に思っていた「お茶＝静岡」という当たりまえは当たりまえでなくなりました。

私が以前2度勤めていた学校は、静岡市の中心部にあり、お茶の間屋さんがたくさんありました。そして茶市場もありました。静岡の、日本のお茶の中心地だったと思います。この時期は、教室の窓を開けて授業をしていると、お茶を製茶している香りがいろいろなところから漂ってきます。学校を取り囲む垣根にもお茶が植えてあります。保護者のご家庭にもお茶を生業としている方が多く、「ゴールデンウィークなのに子どもたちを遊びに連れて行ってあげられない」と言っていたお母さんもいました。でも子どもたちもその状況はちゃんとわかっているようでした。

山間部の学校に勤務したときに教えていただいたことがいくつかあります。この時期の雨は禁物のようです。ぬれたお茶の葉を製茶すると出来上がりの色が悪くなってしまうそうです。従って雨が続くと出荷も当然遅れてしまうようです。お茶の刈り取りは機械が中心ですが、高級なお茶は手摘みで行われます。「一芯二葉（いっしんによう）」と言ってお茶の木の先端の芯とその下の2枚の葉の部分だけを摘み取ります。体験させてもらったことがあります、なかなか大変です。お茶屋さんのホームページによれば、「まだ若く、紫外線をあまり浴びていないので、渋みのもととなるカテキンが生成されておらず、甘みの強いお茶になります。」とありました。確かに本当によいお茶（値段の高いお茶？）は「甘さ」を感じます。

30年くらい前に、お茶の缶やペットボトルが登場したと思います。そのころから、少しずつお茶を急須にいられて飲むという習慣が減り、消費量も生産量も減ってきたとお茶屋さんが嘆いていました。高いお茶も売れなくなってきたとも言っていました。皆さん、健康のためにもおいしいお茶を飲んでください。

さて、本題です。今日5月1日は「八十八夜」。歌にも「夏も近づく八十八夜」とあります。クイズ番組にも「いつから数えて八十八夜？」と出てきます。天気予報にも気象予報士の方の話の中に出てきます。答えは立春から数えて88日目ということなんだそうです。聞き流すことが多いのですが、この際なので調べてみました。わかりやすい説明がありました。

二十四節気は太陽の動きを基にしています。太陽が移動する天球上の道を黄道といい黄道を24等分したものが二十四節気です。

黄道を夏至と冬至の「二至」で2等分



さらに春分と秋分の「二分」で4等分



それぞれの中間に立春、立夏、立秋、立冬の「四立」を入れて「八節」



一節は45日。これを15日ずつ3等分して「二十四節気」

八十八という字を組み合わせると「米」という漢字にもなり、この日は農業に従事する人たちにとっては特別な日ようです。

<その2>アメリカでは① 初めてのメーデー

はなみずき第4号でお知らせした、かこさとしさんの「子どものカレンダー」によれば、

「きょうは はたらく 人の おいわいの日、メーデーです。メーデーは、いまから 100ねんもまえに、アメリカの はたらく 人たちが あつまって、おいわいをした ことから はじまって います。メーデーは、はたらく 人たちの ゆうじょうを しめす、はるの たのしい おまつりです。」の記述があります。

「今日はどんな日」には、「アメリカの労働者が8時間労働を要求して、ストライキをした（1886年）の始まり。今では、労働者の団結を示すお祭りの行事として世界的におこなわれている」とあります。

「おうちのかたへ」には、「メーデーをまだある種の偏見をもって見る家庭があるようですが、テレビや新聞などでも必ず報じられ、こどもたちの父母や兄姉たちもメーデーに参加しています。この労働者の祝日の意味をやさしく、正しく話してあげてください」

<その3>アメリカでは② エンパイアステートビル完成 (1931年)